



## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年12月24日

上場会社名 株式会社ストライク 上場取引所 東  
 コード番号 6196 URL <https://www.strike.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 中村 康一 (TEL) 03-6865-7766  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年8月期第1四半期の業績 (2019年9月1日~2019年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	1,481	79.1	621	170.3	621	170.2	573	277.6
2019年8月期第1四半期	827	17.5	229	△1.6	230	△1.6	151	△4.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	30.01	29.89
2019年8月期第1四半期	7.85	7.82

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	6,346	5,465	86.0
2019年8月期	6,427	5,162	80.3

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 5,461百万円 2019年8月期 5,158百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	14.50	14.50
2020年8月期	—				
2020年8月期(予想)		0.00	—	17.50	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年8月期の業績予想 (2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,202	46.1	1,176	55.4	1,176	55.6	942	87.0	49.32
通期	6,275	23.6	2,237	18.6	2,237	18.4	1,667	24.2	87.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年8月期1Q	19,354,200株	2019年8月期	19,354,200株
2020年8月期1Q	250,076株	2019年8月期	250,036株
2020年8月期1Q	19,104,138株	2019年8月期1Q	19,354,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続いており、景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、米中の貿易摩擦による景気減速懸念等、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社の事業領域である中堅・中小企業のM&A市場は、依然として拡大傾向にあります。中堅・中小企業の事業承継は政府が政策課題として掲げるほど問題は根深く、後継者が確保できず経営者の高齢化が進んでいるのが現状です。中小企業庁が2019年4月に公表した「2019年版中小企業白書」によると、最も多い経営者の年齢は1995年に47歳でしたが2018年には69歳になり、そして経営の担い手（会社などの役員又は自営業主）となる数は、2017年時点で60歳以上が59歳以下を上回り、経営者と経営の担い手の高齢化が進んでおります。こうした中で、事業承継は喫緊の課題であり、後継者不在を理由に企業が廃業に追い込まれることがないよう、政府も支援体制を拡充しております。M&Aは増加傾向にあり、M&Aが事業承継の解決策として認知されつつありますが、さらなる情報発信や支援体制・取組の充実が必要と考えております。

情報発信につきましては、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡で、事業承継を目指す方々にM&Aの具体的な進め方を解説するセミナー「あなたの会社の市場価値は？」を開催し、M&Aに一步踏み出すために必要なことについてご理解いただく機会につながりました。また、広報誌の発行、WEB・新聞・雑誌でのM&A記事を充実させ、M&Aに関する情報発信を行うことで、オーナー経営者に対する潜在的な譲渡希望ニーズの発掘に取り組んでおります。

営業面につきましては、提携先金融機関より人材を受け入れることで、提携先金融機関内におけるM&A人材の育成を担い、協業によるM&A支援体制の強化を行いました。

人員面につきましては、受託案件の増加に対応するとともに、今後更なる成長を目指すため、当第1四半期累計期間においてM&Aコンサルタントを1名増員いたしました。業容拡大に伴う前期からの人員増加に対応するため、2019年9月に東京本社を増床いたしました。

この結果、新規受託については117件（前年同四半期57件）と大幅に増加となりました。当第1四半期累計期間における売上については、期内でM&Aにかかる最終契約が締結されたもののM&A取引実行が翌四半期以降となったことにより、当第1四半期での成約（売上）とならなかった案件が多く（7組）あり、成約組数は計24組（前年同四半期22組）となりました。しかしながら、大型案件が4組（前年同四半期+4組）成約するなど、全体的に成約単価が上昇し、売上高は1,481百万円となり、前年同四半期と比べ79.1%増と増収となりました。売上原価は、売上増加に伴うインセンティブの増加や案件に伴う紹介料の増加等により、495百万円（前年同四半期比79.0%増）、販売費及び一般管理費は、人員数の増加等による人件費の増加、本社増床に伴う地代家賃の増加等により365百万円（前年同四半期比13.8%増）となった結果、営業利益は621百万円（前年同四半期比170.3%増）となりました。これらの結果を受け経常利益も、621百万円（前年同四半期比170.2%増）となりました。また、資産効率化のため投資有価証券を売却し、特別利益として投資有価証券売却益を225百万円計上した結果、四半期純利益は573百万円（前年同四半期比277.6%増）と増益となりました。

当社の成約組数と新規受託の第1四半期実績と当初計画は次の通りとなります。

	2020年8期第1四半期 (実績)	2020年8期第1四半期 (目標)	2020年8月期 (目標)	2020年8月期 (達成率%)
成約組数(組)	24	30	143	16.8
受託案件(件)	117	83	358	32.7

なお、当社はM&A仲介事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ135百万円減少し、5,794百万円となりました。これは主として、現金及び預金が19百万円増加したものの、売掛金が163百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べ55百万円増加し、552百万円となりました。これは主として、本社増床等による固定資産の取得等により有形固定資産が6百万円、繰延税金資産の増加等により投資その他の資産が43百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ379百万円減少し、873百万円となりました。これは主として、賞与引当金が209百万円増加したものの、買掛金が73百万円、前事業年度末の未払賞与の支給等によりその他流動負債が478百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円減少し、7百万円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ302百万円増加し、5,465百万円となりました。これは主として、利益剰余金が、配当により277百万円減少したものの四半期純利益により573百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月30日に発表いたしました2020年8月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,393,580	5,412,955
売掛金	502,862	339,315
その他	36,611	43,927
貸倒引当金	△3,016	△2,035
流動資産合計	5,930,037	5,794,164
固定資産		
有形固定資産	92,914	99,036
無形固定資産	884	6,259
投資その他の資産	403,444	447,089
固定資産合計	497,244	552,386
資産合計	6,427,282	6,346,550
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	105,482	31,701
未払法人税等	368,594	331,302
賞与引当金	—	209,841
その他	779,717	301,043
流動負債合計	1,253,794	873,889
固定負債		
その他	11,305	7,537
固定負債合計	11,305	7,537
負債合計	1,265,100	881,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	823,741	823,741
資本剰余金	801,491	801,491
利益剰余金	4,048,506	4,344,889
自己株式	△518,618	△518,761
株主資本合計	5,155,122	5,451,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,955	9,658
評価・換算差額等合計	2,955	9,658
新株予約権	4,104	4,104
純資産合計	5,162,181	5,465,123
負債純資産合計	6,427,282	6,346,550

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	827,320	1,481,799
売上原価	276,488	495,028
売上総利益	550,831	986,770
販売費及び一般管理費	320,862	365,209
営業利益	229,969	621,561
営業外収益		
受取利息	45	28
営業外収益合計	45	28
経常利益	230,014	621,590
特別利益		
投資有価証券売却益	—	225,000
特別利益合計	—	225,000
税引前四半期純利益	230,014	846,590
法人税、住民税及び事業税	83,140	313,883
法人税等調整額	△4,994	△40,685
法人税等合計	78,146	273,197
四半期純利益	151,868	573,392

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。